

## NPO 法人 21 世紀水倶楽部 出前講座報告

### 「私たちの流した水はどこへゆくのか」

- 流した下水を追っかけて下水道の大切さを実感する -

多くの人は使う水の質や量には神経質すぎるほどに気を使う。安全で美味しい水を得るために結構お金も使っている。そんな人々でさえ使った後の水の行く先はほとんど意識することがないという結果が各種のアンケート調査から明らかだが、その先にある下水道の存在や役割が十分にわかってもらえているのだろうかと心配になってしまいます。

そこで表題のテーマの出前講座を実施しました。

まず、街や暮らしが如何に水を使うことで成り立っているのか、そして使われた水のほとんどが「下水」となって「下水管」に流されていること。「下水管」で集められた「下水」は「下水処理場」で微生物によって綺麗にされ、「川や海」を守っていること等々を自分が出した下水を下水管に沿って追いかけて水再生センターとその先にある水域までを辿り、先々の街と暮らしと水の間を辿りながら、「下水道」が暮らしや街を支え、水環境を守っていることを実感してもらおうという企画です。

この講座は「生活クラブ東京」主催（後援：世田谷区、世田谷区教育委員会）の「いのちと水の連続講座」と共催し、東京都下水道局の南部下水道事務所及び森ヶ崎水再生センターの絶大なるご協力を得ながら二日間かけて実施したものです。

## ○第一日目

実施日時：平成 24 年 8 月 9 日 午前 10 時から 12 時 30 分

場所：生活クラブ館及び地先の公共ます、下水道管（枝線及び北沢幹線）

参加者：

講座内容

① 座学「私たちの流した水はどこへゆくのか」

② 「流した下水を追っかける第一日目」

生活クラブ館から公共ます→下水道管（枝線→北沢幹線）まで

## ○第二日目

実施日時：平成 24 年 8 月 23 日 午前 10 時から 15 時 30 分

場所：北沢幹線（下流の幹線に沿って車中森ヶ崎へ）及び森ヶ崎水再生センター、東京湾

参加者：生協会員（事務局含む）、小学生等 29 名（一部は今回参加のみ）

講座内容

① 「流した下水を追っかける第二日目」

北沢幹線から目黒川幹線→森ヶ崎幹線→大森幹線→森ヶ崎水再生センターまで

② 森ヶ崎水再生センター見学

バックヤードの見学に加え各自持ち寄った汚水の水質検査、放流先の東京湾まで

## ○ 参加者の感想

参加者から次のような感想をいただき、スタッフ一同感激しました。

- ・ 下水道が身近に思えるようになりました。
- ・ 上水道とはちがい、目にふれにくい下水道の海までの経路をたどることで水の大切さを改めて感じた。
- ・ 見えない道路下の下水道管に思いをはせながら今後生活できると思います。
- ・ 汚れたにおう汚水をきれいにして下さってとてもありがたいと思いました。トイレで流す度ありがとうございますようにします。
- ・ 再処理場が微生物の牧場なのですから、日々の生活で、少しでも水を大切に使って水を汚さずに生活していきたいと思いました。
- ・ 下水道に対する見方が変わりました。一人一人が自分の流す水について思いをはせ、気をつけるようになれば、川も海も昔のような“きれい”な水質になることを実感できました。
- ・ 下水処理場のすごさ、大事さが、いまいち世の中に浸透していないような気がする。川は勝手に(S30年以降)きれいになったわけじゃない。

詳細はこちらの報告書をご覧ください